

三笠式振り子理論 マフラーやじろベエ効果

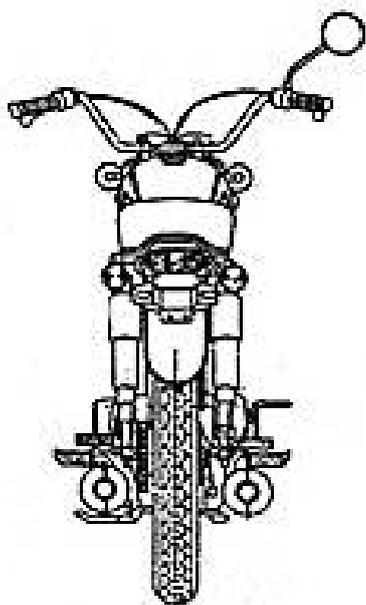
それは神戸市垂水区から西区になってすぐのころ、勤務していた量販店の店頭でバイク磨きをしていたら大きな革靴を持った爺さまが「ちょっと疲れたからここで休ませてくれ」と座り込み、やあら靴から分厚いファイルを取り出し、図面やら書類を見せてくるではありませんか。

その爺さまは発明家らしく、なんでもバイクの重心より下位に重量物であるマフラーを左右離れた位置に配置することでヤジロベエ効果を発揮してバンクした際に復元力が強く働き安定性が向上するというものでした。なんでも国内バイクメーカー4社に意見書を提出してヤマハとカワサキだったかから回答がありその書面も見せてくれました。

当時、マフラーなんかは車体に干渉しないいど中心に寄せるのが当たり前田のクラッカーでしたが数年後、必要以上極端に左右に張り出したマフラーを装着したモデルが出てきたのでこの爺さま理論が採用されたのかなあと感じていました。この理論では一本出しの集合管はNGのようです。

当時、同じ話を多くのバイク屋店頭で披露していたでしょうから拝聴した方もいるかも！？

三笠？三松？まったく違う名称だったかもしれません



時代とともにマフラーの高さも幅も変化しています。

CRIMECA